

6. 精神保健福祉対策

<心の健康づくり相談事業>

精神保健に関する相談・家庭訪問、ひきこもり家族相談会等を実施している。

<協力組織や人材の育成・支援>

地域精神保健福祉推進協議会の育成、地域家族会活動支援、メンタルヘルスサポーターの育成等を行っている。

<啓発普及活動>

地域住民や企業、関係機関等を対象に、心の健康づくりや精神保健福祉に関する知識の普及啓発を目的として、研修会等を実施している。

また、ホームページや市町の広報などを活用し、精神保健福祉関係事業の周知を図っている。

<社会復帰の促進>

精神障害者やひきこもり状態の者ができるだけ自立した生活ができるように、協力事業所における社会とのつながり促進事業を実施している。

また、平成30年11月からは、「富山県措置入院者等退院後支援マニュアル」に基づき、入院中から病院・支援関係者等と協力し、措置入院者の退院後支援に取り組んでいる。

(1)精神障害者の状況

ア 疾患別受療状況

自立支援医療(精神通院)では統合失調症が最も多く次いで気分(感情)障害、神経症性障害となっている。また、医療保護入院では、器質性精神障害、統合失調症が多い。

市町別・疾患別医療状況(申請、届出のあったもの)

(令和6年度)

区分	総数			魚津市			黒部市			入善町			朝日町		
	自立支援 (精神通院)	医療保護 入院	医療保護 入院者の 入院期間更新届 ※1	自立支援 (精神通院)	医療保護 入院	医療保護 入院者の 入院期間更新届	自立支援 (精神通院)	医療保護 入院	医療保護 入院者の 入院期間更新届	自立支援 (精神通院)	医療保護 入院	医療保護 入院者の 入院期間更新届	自立支援 (精神通院)	医療保護 入院	医療保護 入院者の 入院期間更新届
器質性精神障害	57	69	61 (6)	37	33	26 (4)	12	18	15 (1)	4	10	10 (1)	4	8	10
精神作用物質	14	3	-	3	2	-	6	1	-	3	-	-	2	-	-
統合失調症	473	33	34 (2)	177	12	17	155	9	7 (1)	106	8	8 (1)	35	4	2
気分(感情)障害	422	23	9	156	9	7	149	7	2	84	2	-	33	5	-
神経症性障害	149	1	-	52	-	-	49	-	-	31	1	-	17	-	-
生理的障害	25	3	-	13	1	-	4	1	-	2	1	-	6	-	-
人格・行動の障害	7	1	-	2	1	-	3	-	-	2	-	-	-	-	-
精神遅滞(知的障害)	32	7	2	15	-	-	8	3	1	6	4	1	3	-	-
心理的発達障害	84	-	-	30	-	-	29	-	-	17	-	-	8	-	-
小児・青年期障害	36	-	-	13	-	-	11	-	-	7	-	-	5	-	-
てんかん	95	-	-	40	-	-	32	-	-	20	-	-	3	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総数	1394	140	106	538	58	50	458	39	25	282	26	19	116	17	12

措置入院者に係る定期病状報告届出数は、本所0件、支所2件

※1 医療保護入院者の入院期間更新届 R6.5月審査分～ 法改正(R6.4月1日施行)により
()は、R6.4月審査分の医療保護入院者定期病状報告書届出件数

イ 精神障害者保健福祉手帳 申請件数及び交付者数

平成7年 10 月に精神障害者保健福祉手帳制度が創設され、精神障害者の社会復帰及び自立と社会参加の促進が図られるようになった。手帳の有効期間は2年であり、継続希望の場合は、更新の申請が必要である。

精神障害者保健福祉手帳申請件数

区分	総数	魚津市	黒部市	入善町	朝日町
令和5年度	464	193	141	90	40
令和6年度	491	193	154	109	35

精神障害者保健福祉手帳所持者数 (令和7年3月31日現在)

等級	総数	魚津市	黒部市	入善町	朝日町
1級	60	18	19	19	4
2級	523	197	168	115	43
3級	322	125	110	58	29
計	905	340	297	192	76

ウ 通報等処理件数及び措置入院患者数

区分		通報等件数	措置入院患者数		
			入院措置	措置解除	年度末
総数	令和5年度	5	3	3	—
	令和6年度	12	4	3	1
本所	令和5年度	5	3	3	—
	令和6年度	9	2	2	—
支所	令和5年度	—	—	—	—
	令和6年度	3	2	1	1

(2)精神保健相談指導事業

精神科医師や保健師等により、精神障害者及びその家族、地域住民等に対し、所内相談・家庭訪問・電話相談等を実施している。

相談状況

区分		所内相談		家庭訪問		電話相談
		実数	延数	実数	延数	延数
総数	令和5年度	48	139	75	372	2,082
	令和6年度	65	201	85	445	2,179
本所	令和5年度	23	67	51	227	1,489
	令和6年度	45	106	56	237	1,406
支所	令和5年度	25	72	24	145	593
	令和6年度	20	95	29	208	773

(3) 家族教室の開催

ひきこもりやアルコールなどの問題で悩んでいる家族等に対し、当事者への理解や対処方法等の相談・助言を行い、家族や当事者の不安や焦り、孤立感の軽減を図っている。

ア ひきこもり等家族相談会 (令和6年度)

回数	内 容	参加者延数
7	講義「ひきこもりに潜むこころの問題」 講義「8050問題にそなえる」 座談会 個別相談会	16

イ アルコール家族教室 (令和6年度)

回数	内 容	参加者数
2	講義「アルコール依存症の理解と家族の対応」 座談会 個別相談会	21

(4) 社会とのつながり促進事業

平成7年度より、通院中の精神障害者を対象に、社会的自立の促進と社会復帰を図ることを目的として、社会適応訓練事業を実施してきた。

令和3年7月からは、対象者にひきこもり状態の者を追加するなどの拡充を行い、社会とのつながり促進事業として実施している。

(5) メンタルヘルスサポーター育成事業

精神障害者及び家族を支援し、社会復帰の促進を図るとともに、精神障害者が生活しやすい地域づくりに貢献することを目的に、メンタルヘルスサポーターを育成している。

活動状況 (令和6年度)

区分	内 容	実数	延数
本所	地域の精神障害者及び家族への支援 等	1	3
支所	地域家族会への協力 地域の精神障害者及び家族への支援 等	2	20

(6)地域家族会活動支援事業

精神障害者の家族が、疾病や精神障害者の自立・社会参加に向けた家族の関わり方の理解、家族間相互の親睦を図ることを目的に、本所では「ほほえみ家族会」、支所では「オアシス会」が設立され月1回定例会を開催しており、必要な助言や運営支援を行っている。

活動状況

(令和6年度)

区分	活動項目	回数	内 容	参加者延数
本所	例会等	12	定期総会 研修会「地震災害に備える～今、できること～」 施設見学と施設家族会との意見交換 要望書・リーフレット・たよりの作成 等	32
	対外活動	17	ほほえみ家族会たよりの発行 リーフレットの街頭配布 要望書提出(黒部市・入善町・朝日町) 富山かれん研修会出席 新川地域自立支援協議会出席 等	19
支所	例会等	12	定期総会 映画上映会 「問題あっても大丈夫～統合失調症と生きる～」 要望書・たよりの作成 等	39
	対外活動	31	オアシス会たよりの発行 新川地域精神保健福祉推進協議会理事会出席 魚津市へ要望書提出・交渉 富山かれん総会・役員会出席 等	31

(7)地域精神保健福祉推進協議会育成事業

地域住民への精神保健福祉に関する知識の普及啓発に努め、精神的健康の保持増進を図ることを目的に、本所・支所の両協議会を統合し、新川圏域一体となり活動を推進している。

活動状況

(令和6年度)

活動項目	回数	内 容	参加者延数
理事会	1	事業計画等	20
講演会	1	「災害時の心の反応を理解する」 ～マインドフルな気づきの力を養おう～	65
幹事会	2	事業報告、事業計画について	15

(8)地域精神保健福祉ネットワーク推進事業

精神障害者が地域で安心して生活できる支援体制の整備が求められていることから、管内の精神保健福祉関係機関・関係者が相互の役割を理解し、地域支援ネットワークの推進及び関係者の資質向上を図ることを目的に、事例検討会や研修会、ケア会議を実施している。

ア 連絡会及び研修会

(令和6年度)

回数	内 容	出席者	出席者 延数
4	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡会 ・研修会(取組み紹介) <ul style="list-style-type: none"> ①「谷野呉山病院における長期入院患者の退院支援について」 ②「病棟看護師による退院後訪問看護への同行」 ・事例検討会 <ul style="list-style-type: none"> 地域移行支援事例への支援について検討 	精神科医療機関職員 市町福祉課職員 相談支援事業所職員 等	130

イ 事例検討会・ケア会議

(令和6年度)

区分	回数	内 容	出席者	出席者 延数
本所	39	「人との関わりを拒む、50歳代統合失調患者への継続的支援について」、「何度も入退院を繰り返す60歳代双極性感情障害への継続的支援について」、「治療意欲が乏しい統合失調症の40歳代男性への継続的支援について」等	精神科医師 精神保健福祉士 相談支援事業所職員 障害福祉サービス事業所職員 児童相談所職員 市町職員、警察官 厚生センター職員 等	395
支所	14	「思いの表出が苦手な20代男性の就労支援について」、「生活スキルが不足している統合失調症患者への生活支援」等	精神科医師 相談支援事業所職員 学校教職員 児童相談所職員 市職員、警察官 厚生センター職員 等	88

(9)自殺防止総合対策事業

近年、自殺は深刻な社会問題となっている。このため、自殺予防週間等に併せて商工会や市町等と連携して自殺やうつ病等の心の健康づくりに関する普及啓発を実施している。

普及啓発

(令和6年度)

内 容	期 間
ギャンブル等依存症問題啓発週間	5/14～ 5/20
自殺予防週間	9/10～ 9/16
アルコール関連問題啓発週間	11/10～11/16
いのちを守り育む習慣	2/22～2/28

(10)精神科医・一般科医連携体制構築事業(本所)

精神障害者が地域で安心して自分らしい生活を送ることができるよう、医療・保健・福祉の関係者が精神障害者の実態や課題、関係機関との連携の必要性について理解を深め、地域における支援体制の充実、強化を図っている。

関係者連絡会議

(令和6年度)

回数	内 容	出席者	出席者数
1	・第8次医療計画(精神疾患) ・精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業について (新川圏域の取り組み)	医師会、精神科病院(医師・精神保健福祉士)、相談支援事業所、居宅介護支援事業所、市町、厚生センター	20

(11)認知症施策推進支援事業

認知症等に関する所内相談・家庭訪問・電話相談等を実施している。
世界アルツハイマーデー(9/21)に併せて、認知症に関する普及啓発を実施している。

相談状況

(令和6年度)

区分	所内相談		家庭訪問		電話相談
	実数	延数	実数	延数	延数
本所	4	4	—	—	25
支所	—	—	—	—	17

(12)措置入院者の退院後支援事業

「富山県措置入院者等退院後支援マニュアル」に基づき、措置入院者に対し、本人の同意を得た上で退院後支援計画を作成し、原則6ヶ月、関係機関等と協力し、退院後支援を実施している。

ア 退院後支援計画対象者

(令和7年3月31日現在)

区分	対象者数	意見書受理件数			計画作成決定件数				計画終了者数
		総数	内訳(計画作成の可否)		総数	同意確認済		同意確認未	
			要	否		同意有	同意無		
総数	10	8	6	2	6	5	—	3	2
本所	7	7	5	2	5	4	—	1	1
支所	3	1	1	—	1	1	—	2	1

イ 支援状況(延数)

(令和6年度)

区分	院内面接	会議の開催	来所相談	家庭訪問	家族との連絡	関係機関との連絡
総数	—	5	—	24	7	63
本所	—	4	—	10	1	30
支所	—	1	—	14	6	33